

マイクロチップ用小型蛍光検出器(スタンドアローン)

～ポータブル検出器でどこでも分析～

名古屋大学 工学研究科 教授 馬場嘉信、研究員 笠間敏博
浜松ホトニクス株式会社

▶〈関連ページ〉14、34、36ページ

狙い 直感的なオペレーティングシステムとタッチパネルの採用により、誰にでも簡単に扱える仕様になっている。医師や看護師が使用することを想定して、医師の意見を取り入れながらハードウェア・ソフトウェアの仕様を決定した。ベッドサイド診断やその場診断への応用を容易にするため、操作用コンピュータを不要にした上、本体重量を前機種より40%軽量化して、ポータビリティを向上させた。新たな装置導入の際には、その価格が大きなハードルとなる。本装置は、高度な光学技術により、高感度検出を維持しながら、低価格を実現している。

用途 医師や看護師を対象ユーザーとして開発された、イムノピラーチップ専用の蛍光検出器である。検体中のバイオマーカーをベッドサイドで定量することを可能にし、迅速な診断を実現する。

特長

- 軽量(1.2kg)で高い可搬性。
- タッチパネル、カメラ(コード読取用)、プリンター、USBポートを搭載し、医療現場の様々なニーズに対応。
- 光学系はユーザーのニーズに合わせてカスタマイズ可能。

仕様

外 寸/W:130×H:135×D:220mm

重 量/1.2kg

その他/電源電圧:100-240Vac、消費電力:3W



■お問い合わせ/浜松ホトニクス株式会社 電子管事業部 第1開発G 主任部員 長谷川寛
e-mail: yutaka@etd.hpk.co.jp 電話番号: 0539-62-3151 FAX: 0539-62-5005
■特許の有無: PCT/JP2007/073294